

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
9 月 名古屋城 ② 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

紳士のスポーツ

ゴルフ・テニス・ラグビー等についてはよく紳士のスポーツと言いますが、昔から紳士のスポーツは上着に襟がついている、と伝えられてきました。現在も襟がなくとも襟のところにライン状にデザインされているものがあります。紳士の定義が曖昧ですが、私はまあとりあえず、ロータリアンのような人とイメージしています。

なぜ紳士のスポーツと言うか。それは諸説ありますが、自分で判定する、自分で申告するからだと思えます。白黒はっきりしないとき不明のときは、相手方有利に判定します。ゴルフは自己申告ですし、テニスは小規模な試合のときはセルフジャッジです。これらのスポーツは個人を尊重し互いを信頼することで成り立っていると思えます。

なお卓球では、小さな試合でも審判がつきます。審判が間違っただけで判断をした場合卓球では、ポイントを得た方がわざとミスを犯し相手方にポイントを与えます。フェアプレーをします。男子の世界選手権決勝でもこのようなことがありました。どっかの競技のような「神の手」なんてことは決してありません。ネットインとかエッジが入っても必ず相手に謝ります。まかり間違っても「ラッキー」なんて思いません。

テニスでも大きな試合になると審判がつきます。最近芝のコートではビデオ判定まで行われるようになりました。「チャレンジシステム」といいますね。このようなシステムは一般的には判定の公平性の確保するために制度化された、と思えます。

話は飛びますが税務の確定申告 自主申告 も個人への信頼、尊重のもとに行われていると思われま。税務調査は自主申告の信頼性を担保するものとして行われていると思えます。

よく言われているのが、これらのスポーツをする人が紳士ではなく、これらのスポーツをすることによって修練を積み重ね紳士になっていくと思えます。ロータリークラブも一緒と思えます。小森さんに昔、教えてもらいましたロータリークラブは教育機関だと。ロータリークラブの中で、もまれることにより紳士になっていくと思えます。



<例会変更>

- 高山 … 10 月 21 日 (木) は、定款により、休会
- 11 月 9 日 (木) は、紅葉同伴例会のため、ホテル高山アソシアリゾート に変更
- 11 月 23 日 (木) は、法衣木日 (勤労感謝の日) のため休会

◎RI 会長、ロータリー財団管理委員長ネツェル氏より

- ・ポールハリスフェロー認証状および徽章
山下 直哉 さん、萱垣 敬慈 さんへ



<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|------|---------|------|------|--------|
| 前々回 | 31 名 | 4 名 | 35 名 | 40 名 | 87.50% |
| 本日 | 33 名 | — | 33 名 | 40 名 | 82.50% |

<本日のプログラム>

雑誌・広報委員会

雑誌・広報委員長 塚本 直人

本日の雑誌・広報委員会担当例会は嶋津中日新聞高山支局長をお招きしました。ここで嶋津様の略歴をご紹介します。

1964 年、愛知県岡崎市のお生まれ。立命館大学文学部卒業後、88 年に中日新聞社入社。一宮支局を振り出しに東海本社報道部 (浜松市) や名古屋本社生活部、岐阜支社報道部 (岐阜市)、社会部デスク、生活部デスクなどを経て、2015 年 4 月から高山支局長となられ、現在に至ります。

本日は、映画「君の名は」にまつわる普段はなかなか聞けないお話をさせていただきます



<幹事報告>

◎ガイナー、地区奉仕プロジェクト委員長、国際奉仕小委員会委員長より

- ・地区世界社会奉仕補助金申請
後期の受付のご案内

申請締切 12 月 25 日 (月) 翌年 2 月末交付予定

◎派遣交換留学生 萱垣 杏花さんより

- ・近況報告



ロータリー：変化をもたらす

例会報告



地元目線の『君の名は。』騒動

中日新聞社 高山支局長 嶋津 栄之 様

「わが里を聖地に変える君の名は」。昨年11月3日、中日新聞の時事川柳コーナーに、掲載された飛騨市の男性の作品です。また、年末の中部9県3大ニュースでも、岐阜県の2位に「飛騨市が聖地巡礼のファンでにぎわう」がランクインしました。ちなみに1位は事前収賄罪などに問われた美濃加茂市長が二審で逆転有罪、3位は老番屋の廃棄カツ転売事件で羽島市のミノリフーズが関与というものでした。これらはいかにアニメ映画「君の名は。」が話題になったかを示す、一例です。飛騨市がモデルとなったアニメ映画が公開されたのは、1年以上前の昨年8月26日。映画は大ヒットし、今もわれわれマスコミに話題を提供してくれるほどです。

アニメの舞台となった場所をめぐる「聖地巡礼」という言葉も昨年から一般化したように感じます。本来はキリスト教やイスラム教などで、フランスのモンサンミッシェルとか、メッカとか、宗教的な聖地を訪れる言葉でした。飛騨市には国内外から多くの観光客が訪れましたが、市によると、聖地巡礼で訪れたアニメファンは昨年3万6千人、ガッタンゴーが4万2千人ですから、いかに効果が大きいか分かります。年間の観光客数も3年ぶりに100万人を突破しました。これほど飛騨市が多くの注目を集めたのは、2002年のNHKの朝ドラ「さくら」以来ではないでしょうか。

たかが漫画、アニメですが、ご存じのように今や日本の一大産業として国も支援し、クールジャパン文化として積極的に海外へアピールしています。数字が続きますが、「君の名は。」が、いかにすごいかを説明します。国内の興行収入は、ジブリ作品の宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」の308億円に次ぐ、250億円と、邦画では歴代2位。ところが、全世界の興行収入は「君の名は。」は3億5500万ドル（約383億円）と、「千と千尋」の2億7500万ドル（約297億円）を上回って歴代邦画の1位です。作品の内容とか、専門家の評価はまた別の問題ですが、興行的には世界のクロサワ、世界のタケシを上回っているのです。ちなみに昨年のキネマ旬報の日本映画の1位はアニメ「この世界の片隅に」で「君の名は。」はベスト10に入りませんでした。年配者には話の展開が早すぎてついていけない、SF的なストーリーを理解できない、などの声も多かったですが、なによりも映像がきれいだし、音楽もよかったです。日本だけでなく中国や台湾、シンガポールなど、アジアの若者を中心に支持されたのも大きかったようです。加えてSNS（会員制交流サイト）で一気に「面白い」と広まりました。その影響力の大きさとスピードに、われわれマスコミは驚きました。

飛騨市図書館も聖地巡礼に訪れる観光客を迷惑がらずに館内の写真撮影を許可し、積極的にツイートするよう呼びかけたのも、粋な計らいというか、今の時代を象徴する出来事だったように感じます。映画に出てくる組紐という伝統文化の体験、東京と高山を結ぶ高速バスの古川延伸やラッピング、日本酒、春節のセールなど、地元は大いに盛り上がりました。昨年11月の十六総合研究所の発表によると、「君の名は。」と、大垣市が舞台のアニメ「聲の形」、岐阜市の「ルドルフとイッパイアッテナ」を合計した県内への経済波及効果は約253億円ということです。

しかし、厳しい現実もあります。今年3月21日に国交省が発表した公示地価では1月1日現在、県内の住宅地の下落率トップが古川町殿の4・1%、3位も古川町幸栄町の3・7%でした。人口減や高齢化など差し迫った問題も多く、映画によるブームで喜んでばかりはいられないという所でしょう。

また、最近の報道では8月26日、アニメの観光資源化を目指す団体「アニメツーリズム協会」主催の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に飛騨市が選ばれました。実は高山出身の作家・米沢徳信の小説を原作としたアニメ「氷菓」の舞台となった高山市も88の中に入っており、この実写版映画が11月3日に全国公開されます。しかし、残念ながら高山には映画館がありません。

「君の名は。」のブームで、多くのメディアが飛騨市を紹介しましたが、地元に住む者にとって「今話題の映画なのに見られない」というのは、とても悔しいことだったと思います。実際、テレビのワイドショーは「大ヒットしているのに、モデルとなったまちの人は鑑賞できない」と揶揄するように報道しました。しかし、飛騨市が特別なのではなく、国内の地方都市の多くで映画館がなくなって久しいのです。都市部か、その近郊に限られ、むしろ映画館があるまちの方が少ないくらいです。県内では岐阜、各務原、大垣、関くらいです。高山市内では飛騨地域で最後の映画館だった旭座が2014年9月に閉鎖してから、復活していません。一説には人口が20万人くらいないと映画館は設立しないとされます。確かに飛騨地域で映画館を運営するのは厳しいでしょうが、昨年11月と今年1月に飛騨市や高山市で開かれた「君の名は。」の上映会のチケットは即日完売。高山市でオールロケをし、人気子役の本田望結（みゆ）さんが主演した映画「ポプラの秋」も地元で先行上映したが、今回ほどの盛り上がりはありませんでした。

わたしも「君の名は。」は高山の上映会でみましたが、会場は老若男女で超満員。作品にもよりますが、地方でも気軽に映画を見たい、というニーズはまだまだあると感じました。「この世界の片隅に」も市民文化会館でみましたが、それも会場は3分の2は埋まっていました。

実際、全国各地では映画館がないため、地元で上映会を開くなど、頑張っている人たちは数多くいます。飛騨地域でも今年1月から高山市石浦町で「つきイチシネマ」を開催し、飛騨市古川町でも6月から古民家で自主上映が始まっています。つきイチは映画の配給会社と契約し、古川町のケースはポップコーンという新しいシステムを採用しています。ネット配信で低予算で上映できるシステムで、これは各地に広がりがつきます。映像のデジタル化とネット配信によって、いつでもどこでも手軽に上映できる環境が整いつつあるのです。ちなみに中日新聞の地方版の記事を「映画館がない」で検索してみると、静岡県富士市、三重県尾鷲市、群馬県足利市、埼玉県秩父市など、各地で市民が活動する様子が報道されています。レンタルやイン

例会報告

ターネットが普及した時代とは言え、やはり自宅で見ると映画館で大勢の人たちとみるのでは、雰囲気も全く違いますし、より盛り上がります。「君の名は。」の地元での上映会は今回、行政の支援で実現しましたが、飛騨地域で再び映画館を手掛けてくれる民間企業が出てきたらいいなと思います。それまでは今後も音楽やお芝居、伝統芸能と同様、映画の上映も定期的に行政が上映会などを支援し、文化レベルの向上につなげてほしいと思います。



本日は嶋津さま貴重な話をありがとうございました。「君の名は」については昨年来、私も東京、名古屋等いろいろな方から声をかけていただきました。そのたびに、「飛騨高山には映画館がなく、「君の名は」を見ていません」と答えていました。ちょっと寂しい話だと思っていましたが、映画館がないというのは文化的にも損失ですので、次の世代のために何かを考えていかなければいけないと感じました。

そして、海外での興行収入が300万ドル以上と聞き、先日、韓国から遊びにきたインターアクトの引率の先生が熱心に映画を見たという話が、実感として理解できました。飛騨古川駅を訪ね「聖地巡礼」を経験していただくことができ、良かったです。海外の方のほうが熱心かもしれませんね。

<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

中日新聞 高山支局長 嶋津 栄之 様のご来訪を熱烈歓迎します。本日は卓話よろしくお願ひします。

●塚本 直人さん

本日は雑誌・広報委員会担当例会です。嶋津中日新聞高山支局長の講話です。普段は聞けないお話しが聞けるとおもいます、皆様お楽しみに!!そして昨日娘の通う山中中学校で向井さんが太鼓を叩いてくれたそうです。詳しい事は中日新聞朝刊やご本人にお問い合わせ下さい。

●伊藤 松寿さん、井辺 一章さん、堺 和信さん、下屋 勝比古さん、大村 貴之さん、山下 直哉さん、黒木 正人さん、松川 英明さん、萱垣 敬慈さん

(株)中日新聞社高山支局長 嶋津栄之 様のご来訪を歓迎いたします。今日のスピーチテーマ「地元目線の『君の名は』騒動」を楽しみにしています。

●伊藤 松寿さん、平 義孝さん、斎藤 章さん、米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、向井 公規さん、井上 正さん、住田 泰典さん

先日早い、中日新聞にも掲載していただいたノエミが、8日に斐高の体育祭に参加しました。とても素敵な体育祭の写真も届いています。ノエミの成長が益々楽しみです。

●小森 丈一さん

10日の宮坂静生先生の指導句会で良い事がありましたので。

●折茂 謙一さん

高山西ロータリークラブおよび会長・幹事からのお見舞ありがとうございました。心より感謝しています。

派遣交換留学生 萱垣 香花さん 近況報告

作成日 2017年9月14日

最近では、生活にも慣れて週末にはロータリーの留学を通して仲良くなった友達と出かけています。



9月14日、近くにある大きな病院で、子供達のために料理を作るボランティア活動をしてきました。

ホストブラザーと、ロータリーのホストクラブから3人のロータリアンと行きました。料理を協力して作ったりする中でたくさん英語を話したりして、いろんな貴重な体験をさせていただきました。



学校では、初めてのテストがありました。最初は数学で、わからない単語などたくさんありましたが、なんとかのりこえられました!

この調子で、どんどん英語や文化、地域とふれあいたいです!